

科目名 (Subject)	国際経済法研究 (発展 International Economic Law (Advanced))		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	後期 (Fall semester)
担当教員名 (Name)	小林友彦 Tomohiko Kobayashi	研究室番号 (Office)	5 2 3
Office Hours	Thursdays 12:00 – 14:15 木曜日12時～14時15分		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method)</p> <p>To obtain advanced skills of research and presentation in international economic law is the primary objective of this class. We'll discuss advanced issues involving international economic law. 国際経済法について、基本的理解をふまえてさらなる知見と分析手法を修得することを目的とする。講読文献の内容を受講者が分担して報告し、それに基づいて全員で討論するという方法をとる。</p>			
<p>2. 授業内容 (Course contents)</p> <p>We will conduct intensive reading of the collected papers identified below: 指定された文献を精読する。</p>			
<p>3. 使用教材 (Teaching materials)</p> <p>Chaisse, Gao, and Lo (Eds.) <i>Paradigm Shift in International Economic Law Rule-Making: TPP as a New Model for Trade Agreements?</i>, Springer, 2017.</p>			
<p>4. 成績評価の方法 (Grading)</p> <p>(i) Class participation (50%) and (ii) final report (50%)  (1) 授業への積極的参加・報告 50% (2) レポート 50%</p>			
<p>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)</p> <p>秀 (100～90) : Outstanding: 国際経済法について秀でた理解力を示し、関連する問題について秀でた分析をすることができる。</p> <p>優 (89～80) : Excellent: 国際経済法について優れた理解力を示し、関連する問題について優れた分析をすることができる。</p> <p>良 (79～70) : Good: 国際経済法について良い理解力を示し、関連する問題について良いをすることができる。</p> <p>可 (69～60) : Fair: 国際経済法について理解力を示し、関連する問題について最低限の分析をすることができる。</p> <p>不可 (59～0) : Failed: 国際経済法について十分な理解力を持たず、関連する問題について最低限の分析をもすることができない。</p>			
<p>6. 履修上の注意事項 (Remarks)</p> <p>Don't hesitate to ask the instructor for details. 文献の精読が目的である。受動的な「学習」ではなく能動的な「研究」のスキルを向上させるという意識をもって、積極的に参加することが期待される。</p>			